



連携いあい

令和元年6月

第24号

岩手県立磐井病院

「磐井病院のこれまでとこれから」



2006（平成18）年度に新築移転してから13年、関係者の皆さまのご協力により順調に病院を運営できましたことを御礼申し上げます。

磐井病院は、広域基幹病院として救急・急性期医療、緩和ケア病棟を有する「がん治療」などの高度・特殊医療機能、地域医療支援病院（2013年10月に認定）として両磐圏域の医療及び医療及び福祉・介護施設との役割分担と連携を担っております。

2018年6月に医療相談・入退院支援等を含めた「患者支援センター」を立ち上げました。入院前からの支援機能強化として、入院前に外来で前もって患者さんに入院生活のオリエンテーションを行い、患者情報（入院前のサービス利用等）や内服薬を確認し、リスクアセスメント、退院支援スクリーニングを事前に実施することで、患者さんは入院生活や治療経過をイメージし準備した上で入院に臨むことができます。また病院側は、患者個別の事情を事前に評価した上で患者さんを受け入れることができ、円滑な入院医療の提供につながります。

産婦人科は、当院での分娩件数が増加しており、少ない医師数で年間850件の分娩を維持しております。小児科は現在5名体制ですが、医療圏の小児科医を全部合わせても8名と足りておらず、各科も含め医師確保に引き続き努力していく必要があります。

これまで東北大学からの外来応援で維持していた耳鼻咽喉科は昨年度から常勤医2名体制となり、手術も含めた確実な診療を行えるようになりました。

また、地域包括ケアについては、在宅医療と、医療・福祉・介護・歯科・薬局の情報共有システムの構築が大きな課題です。理想は、全国どこでも情報が共有できるシステムを国家レベルでの導入を期待したいところです。

2019年度には、岩手県の県立病院間の患者情報共有システムが整備される予定です。また、当院の電子カルテのバージョンアップが予定されていて、花泉診療センターにも本院と同じ電子カルテが導入されます。

これからも、当院の「地域の皆様に納得のできる医療を提供します」という基本理念のもと、地域医療への貢献、更なる経営改善の取り組み及び多職種連携による地域の医療・介護・福祉との連携に努めて参ります。

地域に必要な医療を維持し、「納得できる」効率良くかつ質の高い医療を提供できるよう、なくてはならない病院として、地域の皆様の支えとなることを心から願っております。

院長 加藤 博孝

<岩手県立磐井病院 理念>

地域の皆様に納得のできる医療を提供します

<岩手県立磐井病院 行動指針>

- ① 患者さんの希望や背景を尊重します。
- ② 患者さんの個人情報を守ります。
- ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
- ④ 地域における医療・介護・福祉の連携に貢献します。

Contents

- 磐井病院のこれまでとこれから・・・1
- 病棟紹介～3東～・・・2
- 平均在院日数について・・・2
- 2019年度新任医師・研修医の紹介・・・3、4
- 患者紹介について・・・4

病棟紹介～3東～

病棟師長 吉川 真喜

3 東病棟は、脳外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科を有する 60 床の混合病棟です。近年人口構造の変化に伴い、高齢者世帯や独居世帯が増加している現状から、高齢者の転倒による骨折が多く、手術等の治療により疼痛の緩和や QOL の向上をめざし、看護をしています。また、認知症・せん妄等の理解や高齢者に対する回復支援と看護ケアについて、認知症ケアチームとカンファレンスを実施しながら対象者にあつたケアの提供に努めています。他にも、脳血管疾患、耳鼻咽喉疾患、泌尿器疾患を患い、入院による手術を受ける患者・家族の思いにより沿い、医師と情報共有しながら、安心して急性期の入院生活が送れるように配慮しています。

リハビリテーションは脳疾患や運動器疾患において回復のために大切な治療です。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・摂食嚥下認定看護師等と協働して行っています。また回復期リハビリテーションのため転院や自宅等への退院に向けた支援は地域連携室や退院支援看護師と連携しチーム医療を提供しています。

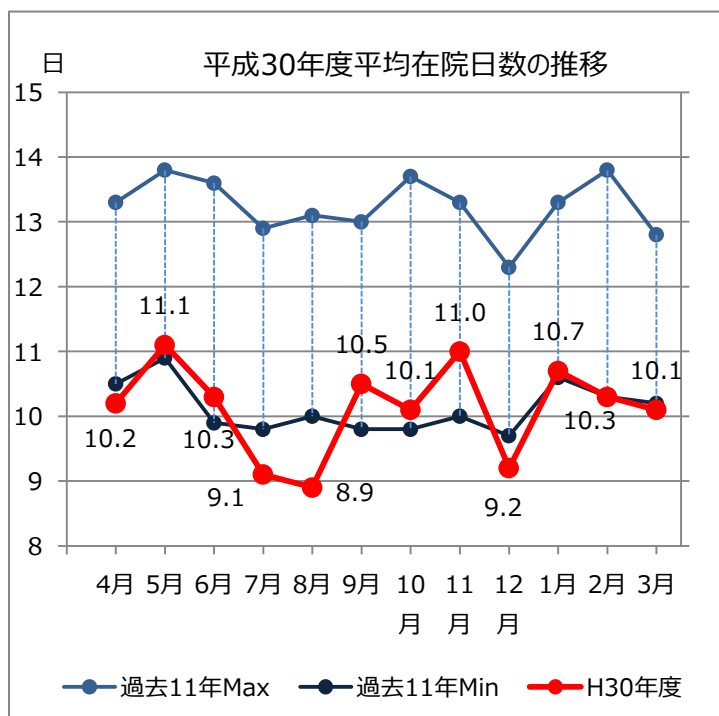


平均在院日数について

診療情報管理室 主任主査 中村 仁

当院は令和元年度の D P C 機能評価係数Ⅱ 標準病院群で全国 5 位の係数となりました。その中で効率性係数（全国の病院と同じ患者構造に補正した在院日数を評価した係数）を偏差値で比較すると、岩手県立病院の標準病院群の中では最も高い 65.6 点となりました。

平均在院日数の推移を見ても、現在の狐禅寺地内に移転した平成 18 年度は 12.6 日、DPC 対象病院となった平成 21 年度は 12.3 日、そして平成 30 年度は更に短縮して 10.2 日となっています。



平成 30 年度の平均在院日数（左グラフ）でも過去 11 年に比べ在院日数が短縮されていることがわかります。理由としてあげられるのは、機能分化による地域医療連携の推進や、医療の質改善、標準化を目的としたクリニカルパスの推進などが考えられます。

しかし一方で、在院日数が単に短くなればよいというわけではありません。在院日数短縮による病床稼働率の低下は経営上好ましいことではありませんし、適切な医療の提供という面では、入院が必要な患者さんを、退院させているのではとらえられかねません。厚生労働省で公開している平成 29 年度の再入院に関するデータでは、当院の同一疾患での 4 週間以内の再入院率は 5.5%（全国 7.12%）となっており、退院（転院）の判断は適切であると判断しています。

当院では、このように様々なデータを活用し、医療の質を評価しながら効率的な医療の提供を目指していますので、関係各位におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。

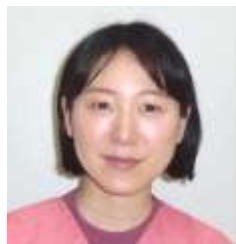
2019 年度新任医師・研修医の紹介



今年度から新たに当院の一員として加わった新任医師・研修医 16 名の紹介です。皆様どうぞよろしくお願いたします。

- ①役職名
- ②出身大学（教室）
- ③所属学会
- ④専門分野
- ⑤ひとこと

新任医師



たかはし みかこ
高橋 美香子

- ①歯科口腔外科医長
- ②岩手医科大学
- ③日本口腔外科学会（認定医）
日本口腔科学会（認定医）
- ④口腔外科一般

⑤地域の皆様のお役に立てるよう、日々鋭意努力して参ります。よろしくお願いたします。



はとやま けいいちろう
鳩山 恵一朗

- ①外科医長
- ②京都府立医科大学
- ③日本外科学会（専門医）
日本消化器外科学会（専門医）
消化器がん外科治療認定医
- ④消化器外科・食道外科

⑤患者さん一人一人に寄り添った、丁寧な医療を提供出来るように日々頑張ります。どうぞよろしくお願申し上げます



こしば やすとし
小柴 康利

- ①耳鼻咽喉科医長
- ②弘前大学
- ③日本耳鼻咽喉科学会（専門医）
日本頭頸部外科学会
日本頭頸部癌学会
- ④耳鼻科疾患一般

⑤一関の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いたします。



あべ たかひさ
阿部 高久

- ①整形外科医長
- ②岩手医科大学
- ③日本整形外科学会（専門医）
日本関節鏡・膝・スポーツ
整形外科学会
日本骨折治療学会
- ④膝、スポーツ整形外科

⑤機能外科として、個々の生活に即した診療を行っていききたいと思います。



しょうばら しゅういち
庄原 秀一

- ①循環器内科医師
- ②弘前大学
- ③日本内科学会日本循環器学会
日本心血管インターベンション
治療学会
- ④循環器一般

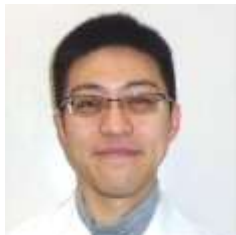
⑤H28年4月からH30年3月まで磐井病院で初期研修医として勤務し、1年間岩手医大循環器医療センターで勤務し、本年度より循環器内科の医師として戻って参りました。地域に少しでも貢献できるよう精進して参りますので、どうぞ宜しくお願いたします。



おおつか こうじ
大塚 康二

- ①産婦人科医師
- ②産業医科大学
- ③日本産科婦人科学会（専門医）
日本医師会認定健康スポーツ医
- ④産婦人科、スポーツ医学

⑤岩手県の医療に貢献できるよう精一杯努力させていただきます。



のぞえ だいすけ
野添 大輔

- ①産婦人科医師
- ②昭和大学
- ③日本産科婦人科学会

⑤石巻での3年間の研修の後、異動して来ました。まだ駆け出しですが、地域に貢献していけたらと思っております。よろしくお願いたします。



うしやま しんぺい
牛山 心平

- ①消化器内科医師
- ②弘前大学

⑤地域の皆様のお役に立てるよう、日々鋭意努力して参ります。よろしくお願いたします。

研修医

今年度は計8名の研修医が加わりました。
2年間よろしくお願いします。

- ①出身大学
- ②ひとこと



かたやま だいき
片山 大輝

- ①東北大学
- ②親しみやすい医師をめざします。



きたかみ けい
北上 慧

- ①岩手医科大学
- ②皆様のお役に立てるようがんばります。よろしくお願いします。



さかもと ある
坂本 有

- ①東北大学
- ②しっかり精進して参りますので、どうぞよろしくお願いします。



すがわら りゅうじろう
菅原 隆二郎

- ①岩手医科大学
- ②岩手、一関の医療に貢献できるようにがんばりますので、よろしくお願いします。



おざわ かな
小沢 花奈

- ①秋田大学
- ②一生懸命がんばります！よろしくお願いします。



さきはら まゆか
崎原 麻悠香

- ①琉球大学
- ②一日でも早く即戦力として活躍できるよう努力してまいります。



はまさき りょう
浜崎 亮

- ①東北大学
- ②志望科は特に定まっていないので、お世話になる科では、多くを積極的に吸収していきたいと考えております。一生懸命頑張るつもりです。よろしくお願いします。



よしおか たくや
吉岡 拓哉

- ①東北大学
- ②まだ診療科が決まっていないので全ての科に全力で取り組みたいです。至らない点も多々あると思いますが、誠心誠意がんばります。

患者紹介について

当院では、一部の診療科を除いて、外来診療が予約制となっております。そのため、患者さんの紹介につきましては、予めFAXでの受診予約をお願いしております。（当日受診を希望される場合は、直接担当医師まで電話にてご相談ください。）

出来る限り早めの回答を心掛けておりますが、診療スケジュール確認等のため、若干お時間をいただくことがありますので予めご了承願います。（急ぎの返信が必要な場合は、その旨をFAX用紙にご記入願います）

大変勝手なお願いではございますが、今後ともスムーズな診療にご協力の程宜しくお願い致します。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax(0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ:<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook:<http://www.facebook.com/iwaihp>